

リーディングDXスクール事業 【実践事例】

新潟市立白山小学校（新潟県）

【取組内容①】 子ども主体の授業を目指す～クラウドを活用した学習状況共有による授業改善～

1	名前	プレゼントする相手	今日の課題	詩の分析方法	詩の整理・分析シート(リンク)	プレゼントしたい理由 (この詩は●●。だから、～な△△さんに伝え
3	1	友達	贈り物を作る(表現)	Yチャート	1GJmhZLxJTOkdVyMbx5Tm...	この詩は優しい詩だから、仲が良くって本当は優しい。
4	2	家族	贈り物を作る(表現)	フィッシュボーンチ...	1VwmJl13fekoCHDFWmLuzi...	この詩は、おじいちゃんの名前が書いてあってお喜ぶかなと思ったから
5	3	友達	詩を分類する(整理・分...)	ピラミッドチャート	1YUcjgVYqW-s7wQC8s_EPP...	この詩が一番〇〇さんに合うと思ったから
7	4	友達	贈り物を作る(表現)	フィッシュボーンチ...	1JWqMoexE33d6YT7OEBvfa...	いつも一緒に遊んでくれるから
8	5	友達	詩を集める(情報修収集)	Yチャート	11TUaNMtgNjHVSQYAmW1x...	いつも面白いし楽しい人だから

5年生国語「生活の中で詩を楽しもう」では、多くの詩と親しみ、お気に入りの詩をプレゼントする学習を行った。単元の中で、「詩をプレゼントする相手」や「集めた詩の分析方法」「プレゼントする際の表現方法」を自己決定させた。

その際、個人の進捗状況を1枚のスプレッドシートにまとめ、学級内で共有した。児童は、同じ課題を選択した人と集まって相談したり、友達が分析したJAMボードをリンクから参照したりしながら、自分のペースで学習を進めていった。

【取組内容①】子ども主体の授業を目指す～クラウドを活用した学習状況共有による授業改善～

1月26日（金） 国語 「生活の中で詩を楽しもう～詩をプレゼントしよう～（4時間目）」

名塚裕樹・1月26日

★写真に撮った詩を整理・分析する人★

課題：相手にぴったりな詩はどれだろう？

- ①詩を集める（目標は5～10編）
 - ・気に入った詩をカメラで写真に撮る。

- ②JAMボードで、その詩を分析する。
 - ・カメラの中に入れた詩の画像をJAMボードに取り込もう。
 - ・3つの中から自分に合った方法で分析しよう。
 - ・困ったら、友達が整理・分析したJAMボードを参考にしたり、チャットに質問したりしてみよう。

- ③詩を分析し終わったら、相手にプレゼントする詩を1つ選ぶ。

- ④その詩を選んだ理由を、スプレッドシートの「プレゼントしたい理由」に書く。

例：この詩は●●。だから、～な△△さんにぴったりだと考えた。

- ⑤選んだ詩と、それを選んだ理由をクラスの2人に紹介してOKをもらおう。

★詩のプレゼントを作る人★

課題：どのように詩をプレゼントすれば、詩の魅力が相手に伝わるだろう？

- ①プレゼントする方法を考える

- ②どのようにしたら、その詩の良さが相手に伝わるのか見直しをもつ。

（その詩のどこが良いのかが伝わるように、文字の大きさや色使いなどを工夫する。）

 - ・音声を入れてもよい。

裕樹 昨日、[]から質問がありました。「分析の方法で、おすすめはありますか？」

けい [] 1月26日 yチャートがいい

けい [] 1月26日 相手のことを考えて3つに選びそれを書けばOK

けい [] 1月26日 質問です しを描き終えたけど詩の魅力が伝わるようにどうすればいいかわかりません どうすれば良いですか

り [] 1月26日 うまく誰に伝えたいかわかりません。

い [] 1月26日 詩に合う絵を描いたりするといいですよ！

の [] 1月26日 絵を描いたり理由を書いたりしたらどうかな？

は [] 1月26日 絵を追加して迫力を出そう！

の [] 1月26日 ありがとうと伝えたい人などに伝えたいんじゃない？

こ [] 1月26日 猫の詩はありますか？

り [] 1月26日

5年生国語「生活の中で詩を楽しもう」では、学習計画を児童と共に作り共有した。そして、その計画に沿って単元内自由進度学習を行った。

その際、Googleクラスルームを活用して、「学習の流れ」や「必要な資料」を自分が必要なタイミングで確認できるようにした。また、活動中で生じた疑問をコメント欄に投稿し、回答を得ながら学習を進める児童もいた。

単元終了後の児童からは、「自分のペースで安心して学習に取り組めた。」「自分で学習する力がついた。」「詩が好きになった。」という声が挙がった。

【取組内容①】算数の確認問題におけるGoogleフォームの活用

質問 回答 設定

合計点: 100

2 右の表は、こまがまわっていた時間をはかったものです。だれのこまがいちばん長くまわっていましたか。

みれい	58秒
ゆうご	1分40秒
あいな	1分28秒
ふみと	104秒

○
 ×

次の口に入る数字を書きなさい。*

① 秒にそろえて考えましょう。

ゆうごさん 1分40秒 = □ 秒

40

+ 60 ... 1分

記述式テキスト（短文回答）

次の口に入る数字を書きなさい。*

あいなさん 1分28秒 = □ 秒

どれくらいの重さでしょう？*

100ポイント



- 1kgより軽い
 1kgより重い
 2kgより重い
 その他

A	B	C	D
名前	問題のURL		
1	児童の名前	https://forms.gle/2c9Yoa6CpUbYy7HZ7	1人目 2台というところに引っかかりそうになった。
2		https://forms.gle/kqx95UEY5bHReoZr8	本が5冊でもこんなに軽いことが驚きました。
3		https://forms.gle/kj7mTDhn3ggQFEnG7	間違えそうになった
4		https://forms.gle/Ak25HDkZaPpgyxDP8	思っていたよりも軽いことに驚きました。
5		https://forms.gle/TANAGJD7z83ka8sK6	1kgより軽いなんて思いませんでした。
6		https://forms.gle/SVuLmJkguGU45X9X6	意外と本軽いですね！

3年生の算数では、授業の終末場面で確認問題を行う際に「Googleフォーム」を活用した。児童は自分の解答の正誤がすぐに分かり、教師は児童一人一人の理解度や学級の誤答傾向を分析できるメリットがあった。

また、児童が学習したことを活かして、Googleフォームに「オリジナル問題」を作成する活動も行った。その際、児童がスプレッドシート上にリンクを貼り、互いに問題を解き合うことを通して、学習内容の定着を図った。

【取組内容②】 オンライン講演会の実施「児童期におけるタブレットとの上手な付き合い方」

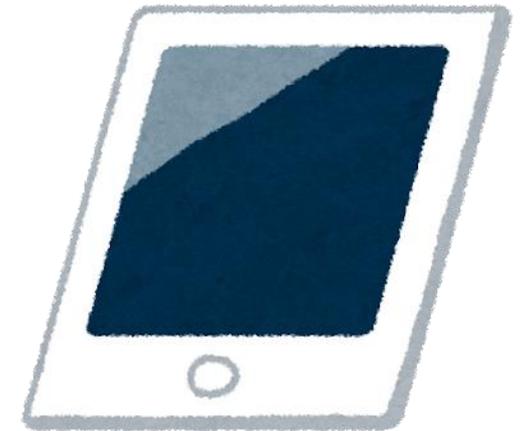


就学時健康診断の際に、「メディアリテラシー」に関する講演会を行った。

オンライン開催にすることで、講師との日程調整が容易となった。また、例年は新入生保護者を対象に対面で行っていたが、今年度は全校の保護者を対象とし、Googleフォームで参加を募った。

多くの保護者が参考になった点として、「タブレット端末の使用をおしまいにするための約束や練習」についての話題を挙げていた。

叱りながらタブレットを取り上げるのではなく、あらかじめ「おしまいの仕方」を確認しておくことで、スムーズに次の活動を行うことができるという話を聞き、学校内でも「上手な終わり方」も含めて啓発していきたいと考えた職員も多くいた。

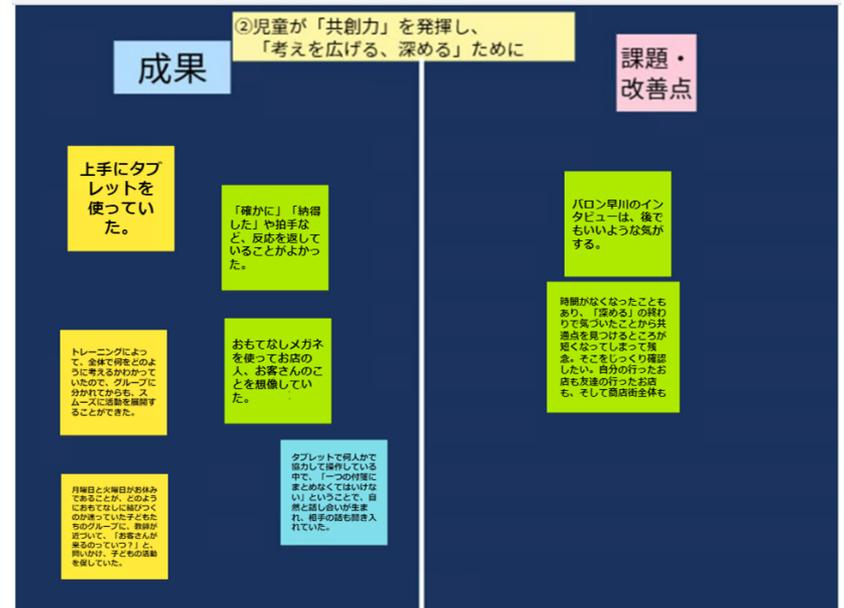


【取組内容④】 校内公開授業の協議会場面におけるクラウド活用の工夫



校内研修における授業公開後の協議会を、紙ではなく、タブレットを用いて進めた。
 また、Googleクラスルームを用いて、指導案や当日の流れについての資料もクラウド上に集約し、タブレット1台があれば、研修に参加できるようにした。

協議会では、JAMボードを用いて「手立ての有効性」や「課題と改善策」について話し合った。回数を重ねることで、各アプリに対する職員の扱い方も慣れていった。協議会の終末では、Googleスライドを用いて「研修で学んだこと」を1人1枚のスライドにまとめた。これらがクラウド上に蓄積されていくことで、各授業の成果と課題が参照しやすくなり、研修の積み上げに効果的であった。



【取組内容⑤】 DX推進地区の実践をまとめたホームページの作成・公開

リーディングDX特設HP

ホーム
国語
社会
理科
お知らせ
各校HP等

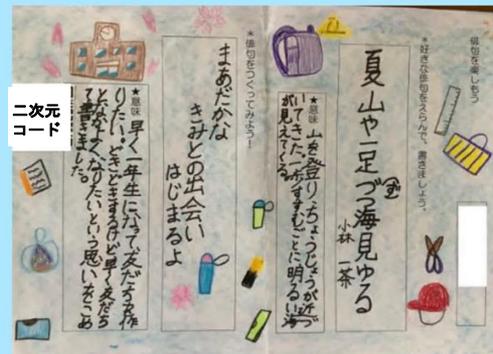
リーディングDX事業指定校となっている白新中学校区の実践をまとめたホームページを作成し、地域・保護者に周知をした。

作成にGoogleサイトを用いたことで、各学校が適切なタイミングでホームページの更新を行うことができた。

各学校の取組を教科ごとにページ分けし、端末を活用した授業の様子が分かりやすいように工夫をした。

他校の取組を参考にして、授業における端末活用のアイデアを広げることができた。

国語



小3国語「俳句を楽しもう」@白山小学校

白山小学校3年生の子どもたちは、国語の学習で俳句を作り、お互いに紹介し合いました。端末のカメラ機能を活用し、各自作成した俳句を詠んで録音しました。その後、クラウド上に録音したデータを保存しました。授業参観の際に子どもたちの作品を掲示することで、保護者が自身のお子さんの二次元コードを読み取り俳句を鑑賞することができました。

本実践では録音する際のアプリとして授業支援アプリ、クラウド上への保存はGoogleドライブを使用しました。